

○深谷秀峰議長 次、1 番諏訪一則議員の発言を許します。諏訪議員。

〔1 番 諏訪一則議員 登壇〕

○1 番（諏訪一則議員） 1 番諏訪一則でございます。議長のお許しをいただきましたので、通告順に従い、質問いたします。

現在、障害者の働く環境は非常に厳しい現状です。障害者の中でも知的障害者が通う障害者就労施設では、仕事を見つけ障害者に就労訓練をさせることさえ難しい時代です。障害者の就労者施設では日々努力し、仕事を探しております。そうした努力により障害者就労施設では、障害者に就労訓練を行っております。このような中、障害者就労施設においての賃金はどのようになっているか。また、県の障害者就労施設においての賃金が1 カ月幾らになるのかご存じでしょうか。お聞きいたします。また、常陸太田市においては、障害者就労施設においての1 カ月賃金が幾らになるのかご存じでしょうか。これもお聞きいたします。

「障害者優先調達推進法」がございます。平成24年6月27日に交付され、平成25年4月1日より施行されました。「障害者優先調達推進法」については、詳細にご存じと思いますが、簡単にお話しいたします。

この法律は、国等による障害者就労施設等からの物品の調達、推進等に関する法律でありまして、障害者就労施設で就労する障害者や在宅で就労する障害者の経済面の自立を目指すため、国や地方公共団体、独立行政法人などの公共機関が物品やサービスを調達する際、障害者就労施設等から優先的、積極的に購入することを推進するために制定された法律であります。障害者が一生懸命働くためにはどうしても必要な法律です。

官公庁は「障害者優先調達推進法」を制定し、「障害者優先調達推進法」に即した調達を実施し、障害者が働いている施設へ仕事の発注、物品の購入等を行い、仕事の受注、物品の納入等も行い、そして調達実施の公表をしなければいけないと厚生労働省は言っております。

では当市では、「障害者優先調達推進法」をどのように受けとめ実施しているかお聞かせください。法律の実施、法律が施行をされた平成25年度、26年度は、常陸太田市の各課はどのぐらい活用されたか、これもお聞きいたします。そして金額では年間いかほどに達したのかお教え願いたい。常陸太田市では、年間幾らの予算を仕事の発注または物品の購入等を行って計画を立てているのか伺いたい。そして実施金額目標が達成されているのか、調達実施の公表はきちんとされているのか。今後、市内障害者就労施設等に仕事を発注していく計画はできているのか伺いたい。

また、道の駅等においても「障害者優先調達推進法」の一部と考え、障害者就労施設等への働きかけをしているのか伺いたい。障害者支援事業所は現在、虹の家では花の苗、鉢植えの花が生産されております。また、ひまわりでは干し芋など農産物が生産されています。このような農産物が販売できるよう物品の販売コーナーなどが設けられる予定があるのかをお聞きいたします。設けられる予定がないのであればその理由をお聞きしたい。物品の納入をしていただき、少しでも障害者の人たちが働く喜びにしてあげたいと思っております。

1 回目の質問を終わります。

○深谷秀峰議長 答弁を求めます。保健福祉部長。

〔西野千里保健福祉部長 登壇〕

○西野千里保健福祉部長 障害者賃金と「障害者優先調達推進法」についてのご質問にお答えをいたします。

まず初めに、茨城県の障害者就労施設における一月当たりの賃金でございますけれども、まだ平成26年度の実績が公表されておきませんので、平成25年度実績でお答えさせていただきます。非雇用型の就労継続支援B型事業所、いわゆる入所・通所・授産施設など等が該当いたしますけれども、県内で194カ所ございまして、一月当たりの平均賃金を申し上げますと1万1,353円という数字が示されてございます。

次に、常陸太田市の障害者就労施設における一月当たりの賃金でございますけれども、市内には障害者就労施設が2事業所ございまして、それぞれ平成26年度の一月当たりの平均賃金を申し上げますと、まず市の社会福祉協議会、こちらは5カ所の作業所を持っております、その平均で5万5,104円、そして水府地区にございます社会福祉法人朋友会のひまわりが6万1,990円でございます。

続きまして、「障害者優先調達推進法」についてのご質問にお答えをいたします。

まず、「障害者優先調達推進法」への対応につきましては、議員のご発言にございましたように、障害者就労施設等における障害者の自立の促進を図るために大変重要であるという認識を持ってございまして、法施行年度の平成25年度より物品等の調達を行っております。

本市における平成25年度及び26年度の現状を申し上げますと、こちらも議員のご発言にございましたように、今般における障害者の就労環境につきまして大変厳しい現状でございますので、就労支援事業所で就労移行支援や就労継続支援のサービスを利用し、作業や実習などを行いながら生産活動に従事している状況でございます。

そのような中で本市では、障害者就労支援事業者の工賃向上を図るべく、平成25年度より常陸太田市障害者就労施設等からの物品等調達推進を図るための方針を策定いたしまして、物品等の調達目標額を定め、その目標額の達成により少しでも施設利用者の賃金向上が図られるよう全庁的に声かけをし発注を促進しているところでございます。

調達目標でございますけれども、初年度の平成25年度が20万円、そして26年度が75万1,000円で、それに対する実績額がそれぞれ平成25年度が16万3,550円、そして平成26年度が90万800円でございます、社会福祉課を初め、子ども福祉課内の各保育園、教育委員会では小中学校・幼稚園、スポーツ振興課、海洋センター、図書館、生涯学習センターなどが物品等の発注をいたしております。

平成27年度における物品等調達推進を図るための方針につきましては、現在策定中でございますけれども、平成25年度及び26年度の実績額や庁内各部課等における利活用計画、さらには予算額などを考慮した上で近く目標額を定め明らかにしてまいりたいと考えております。

また、物品購入等に係る予算措置についてでございますけれども、庁内各部課等においてこれまでの実績等を踏まえまして、それぞれ予算額の範囲内において発注を行っていくことになって

いくものと考えておりますが、今年度も調達推進のための方針を策定いたしまして、その策定次第、全庁的に取り組みを周知し、また目標額の達成を目指してまいりたいと考えております。

また、社会福祉課内では本年度予算といたしまして、障害者就労施設等への発注分といたしまして38万円を計上いたしてございます。

次に、「障害者優先調達推進法」利用の金額目標の達成状況及びその伸びについてでございますけれども、ただいま前段のご答弁で申し上げましたように、平成25年度は目標額20万円に対して実績額で16万3,550円、達成率82%でございましたが、平成26年度につきましては、目標額75万1,000円に対しまして実績額90万800円、達成率120%でございまして、着実に目標額及び実績額を伸ばしているところでございます。

調達実績の公表につきましては、常陸太田市障害者就労施設等からの物品調達、推進を図るための方針に基づきまして、各年度の実績を取りまとめた後に、速やかに市のホームページ上に公表いたしているところでございます。

○深谷秀峰議長 農政部長。

〔滑川裕農政部長 登壇〕

○滑川裕農政部長 農政部関係の道の駅においての「障害者優先調達推進法」に係るご質問にお答えいたします。

複合型交流拠点施設道の駅における作業の受注及び生產品の販売につきましては、法の趣旨を鑑み、今後提供者である障害者就労施設の方々と提供可能な役務及び物品等についての協議を行い、運営の主体となる第三セクターの経営方針の中で検討協議を行ってまいりたいと考えております。

なお、コーナーの設置につきましては、当該施設が農産物、加工品及び特産品等の販売を目的とする施設であり、売り場面積にも限りがございますことから、常設によるものだけではなく、提供者からの物品等の数量等にもよりますが、臨時的なコーナーの設置も含め検討を行ってまいります。

○深谷秀峰議長 諏訪議員。

〔1番 諏訪一則議員 質問者席へ〕

○1番（諏訪一則議員） それでは2回目の発言をさせていただきます。

先ほど賃金が5万幾ら、それと6万幾らというお話がございました。これは年間ですね。その辺を言っていたかないと、ちょっと誤解を招きますので、そうすると月当たり5,000円以下になりますよね。その辺をしっかりと……。

○深谷秀峰議長 諏訪議員。議長を通してやりとりをしてください。

保健福祉部長、答弁ありますか。月か年か言い直してください。保健福祉部長。

○西野千里保健福祉部長 大変失礼いたしました。先ほどの賃金につきましては、一月当たりの賃金という形でご理解をいただきたいと存じます。

○1番（諏訪一則議員） わかりました。ありがとうございます。

よろしいですか、次。

○深谷秀峰議長 保健福祉部長にお尋ねいたします。太田地内の賃金もこれは一月の金額ですね。

諏訪議員，よろしいですか。

○１番（諏訪一則議員） はい，ありがとうございます。

○深谷秀峰議長 年間でなくて月ですからね。

○１番（諏訪一則議員） はい，月です。６万幾ら，５万幾らというのは年間だと思いますので，改めて……。

○深谷秀峰議長 ちょっと食い違っていますね。

保健福祉部長，もう一度お願いします。

○西野千里保健福祉部長 ご答弁申し上げます。

先ほど申しあげましたように，県及び市の金額につきましては，一月当たりの平均賃金でございます。

○深谷秀峰議長 諏訪議員，よろしいですか。間違いないですか。

○１番（諏訪一則議員） ありがとうございます。

○深谷秀峰議長 諏訪議員。

○１番（諏訪一則議員） 当市の「障害者優先調達推進法」の取り組みについては理解いたしました。ありがとうございます。

物品調達目標額が２５年度２０万円，２６年度７５万１，０００円と大きく伸びたことは評価できと思いますが，まだまだ少ないと思います。実績として２６年度は９０万８００円，１２０％という喜ばしい数字が出たと思います。

また，各課においても「障害者優先調達推進法」の理解がまだまだされてないのではないかと思います。いかがでしょうか。

○深谷秀峰議長 答弁を求めます。保健福祉部長。

○西野千里保健福祉部長 「障害者優先調達推進法」の普及状況のご質問にお答えいたします。

議員のご発言にございましたように，法が施行されて今年で３年目ということで，当市では初年度より庁内に方針をお示しし，呼びかけをし，実施しているところでございますけれども，まだまだ施設の，いわゆるそういう物品等の状況に対する周知，さらには利活用計画における生産量の整合性のすり合わせ等もまだまだ課題があろうかと思います。その辺については施設等との情報交換，あるいは情報共有を図りながら段階的に実績額を増やしていく取り組みにしていまいりたいと考えております。

以上です。

○深谷秀峰議長 諏訪議員。

○１番（諏訪一則議員） ありがとうございます。

当市における２７年度「障害者優先調達推進法」の方針を先ほどお聞きしましたが，もう一度確認させていただきたいと思います。

○深谷秀峰議長 保健福祉部長。

○西野千里保健福祉部長 平成２７年度の方針でございますけれども，先ほどご答弁申し上げま

したように、現在取りまとめ作業中でございます、近く金額等々を確定しご提示できるかと考えております。25年度及び26年度の実績額あるいは実施内容等も踏まえまして27年度の目標額を定め、ホームページ等で公表してまいりたいと考えております。

○深谷秀峰議長 諏訪議員。

○1番（諏訪一則議員） ありがとうございます。現在ホームページに出ているのは26年度のみですね。

○深谷秀峰議長 保健福祉部長。

○西野千里保健福祉部長 25年度及び26年度の実績額を公表しているものと存じます。

○深谷秀峰議長 諏訪議員。

○1番（諏訪一則議員） わかりました。ありがとうございます。

現在、障害者就労施設——「つばさ」「くにみ」「ふれんず」「虹の家」「あゆむ」障害者支援事業所「ひまわり」、6施設による物品の調達でありますと、1人当たりですと年間非常に少ない金額になります。12万5,167円、これは1カ月当たりになりますと1万430円、1カ月21日働きますと496円。施設1人当たり1円ぐらいになりますね。これが大体七十何万の計画ですね。それぐらいになります。ひとつまた27年度は利用していただきたいと思います。

物品の購入ですが、非常にありがたいことに伸びているということで私も喜んでおります。また、福祉事務所、教育委員会の物品の購入実績は喜ばしいことと思います。なお一層の取り組みを期待しております。市障害者就労施設等での物品の内容もありますので、生産物の内容を鑑み、今まで以上の発注をしていただきたいと思います。

以上をもちまして私、諏訪一則の一般質問を終了させていただきます。ありがとうございました。

○深谷秀峰議長 午前の会議はこの程度にとどめ、午後1時まで休憩いたします。

午前11時41分休憩

---

午後1時00分再開

○深谷秀峰議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

保健福祉部長。

○西野千里保健福祉部長 午前中の諏訪議員の一般質問でご答弁した内容につきまして、一部補足の説明と内容の訂正をさせていただきたいと存じます。

まず、障害者施設における一月当たりの賃金についてでございますけれども、これはあくまでも各事業所全体での一月当たりの平均賃金でございます、障害者1人当たりの賃金ではございませんので、ご承知いただきたいと存じます。

また、ホームページ公表のご質問に対しまして、平成25年度、26年度の実績を公表していると申し上げましたけれども、年度終了後の翌年度の5月30日から6月30日に前年度の公表ということで、現在は平成26年度の実績のみを公表させていただいておりますので訂正をさせていただきます。よろしくお願いいたします。